

子どもの貧困対策 全国キャラバン in 長野

「6人に1人の子どもが貧困」と言われても、なかなか実態が見えず実感することが難しいのではないのでしょうか。この全国47都道府県キャラバンは、各地域の方々と連携して、対策推進に向けたより充実したつながりをつくることを目的とし、今年度よりスタートした3か年プロジェクトです。

見えにくい、しかし静かに深刻さを増している子どもの貧困について理解を深め、できることを考えませんか？

日時●2016年11月12日(土) 会場●長野県教育会館ホール

第一部 10時～12時 第二部 13時～16時

※会場に駐車場はありません。「公共交通機関」をご利用ください。

プログラム

車の方は、県庁や県合同庁舎の駐車場などをご利用ください。

▼第一部（全体会）10時～12時

主催者挨拶（小河光治・あすのば代表理事）

共催者代表挨拶（中島恵理・長野県副知事）

パネルディスカッション

『今、長野で必要な子どもの貧困対策は』

パネラー：轟寛逸（長野県県民文化部こども・若者担当部長）

宮下順（児童養護施設 飯山学園）

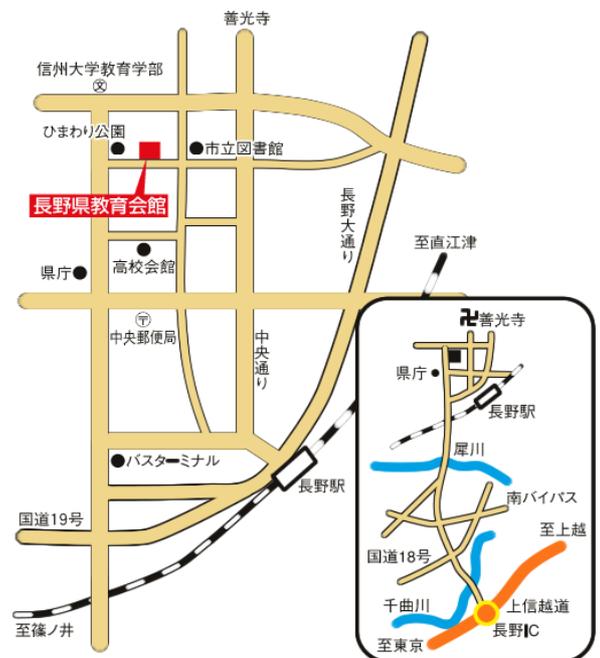
立花さくら（松本大学4年）

西堀菜津美（長野大学3年）

コーディネーター：吉田和花（津田塾大学3年）【敬称略】

▼第二部（意見交換会）13時～16時

第一部ふりかえり／分科会「地域で進める子どもの貧困対策」／意見交換タイム／学生企画など



主催：公益財団法人 あすのば 共催：長野県

協力：信州こども食堂ネットワーク・長野県NPOセンター・長野県みらい基金・フードバンク信州（50音順）

後援：内閣府、長野県教育委員会（以下申請中）・長野県経営者協会・長野県社会福祉協議会・長野県長寿社会開発センター・長野市・長野市教育委員会・ホットライン信州・連合長野・労協ながの（50音順）

助成：公益財団法人 キリン福祉財団

応募方法●あすのばウェブサイト内の申込みフォームへ

電話・メールでの応募も可（<http://www.usnova.org>）※裏面FAX参加申込書

参加費●無料 定員●150人

お問い合わせ●公益財団法人あすのば

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-6 河村ビル6F

☎ 03-6277-8199 FAX 03-6277-8519 ✉ info@usnova.org

公益財団法人 USNOVA
あすのば
子どもの貧困対策センター



FAX 03-6277-8519

FAX・ウェブサイト・メールなどでお申し込みください。
E-mail info@usnova.org WEB www.usnova.org

子どもの貧困対策 全国キャラバン in 長野 参加申込書

日時:2016年11月12日(土) 第一部10時~12時 第二部13時~16時

会場:長野県教育会館 ホール(JR 長野駅善光寺口徒歩20分)

参加希望 第一部(10~12時) 第二部(13時~16時)

ふりがな
お名前

お住まいの市町村

電話

FAX

E-mail



子どもの貧困対策法成立から満2年を迎えた昨年6月19日に、子どもの貧困対策センター「あすのば」は設立・誕生しました。

あすのばは、「明日の場」であるとともに「US(私たち)」と「NOVA(新しい・新星)」という意味もあります。子どもたちが「ひとりぼっちじゃない」と感じてほしいという「私たち」と一緒だよという願い。そして、多くの人に子どもの貧困問題が

他人事ではなく自分事感じてほしいという「私たち」でもあります。みんながどう「場」であってほしいですし、すべての子どもたちが明日に希望を持って、輝く新星のような人生を送ってほしいという願いも込めています。

あすのばの事業は、①調査・研究とそのデータなどに基づいた政策提言、②全国の支援団体の活動が持続し発展できるような支援団体への中間支援、③子どもたちの自立のために物心両面で子どもたちへの直接支援、の3本柱を担います。

また、もう一つの大きな特徴は、子どもがど真ん中・「センター」のポジションとして、孤立し声を出せない子どもの声も大切に作る運営に務めています。6人の理事のうち3人が子どもを代表した学生です。子どもの声を直接、法人の事業運営などに活かしています。

さらに、今年4月1日、内閣府より公益認定を受けて「公益財団法人あすのば」として新年度をスタートしました。今年度も子どもの貧困対策のさらなる推進に向けて歩みをすすめます。